

2025年度 第1回 雄踏中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年4月24日（木） 14時30分～16時30分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、藤田 雅光、坂下 正泰、山内 勝己、加茂 しづか
関谷 みゆき、坂田 尚久、河瀬 俊夫、渥美 香由里
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山下 博之（校長）沖田 暁（教頭）武田 伸江（教諭）
高柳 雄大（教諭） 藤松 昌一（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（教育総務課地域連携グループ長）
- 7 傍聴者 雄踏中職員 26名
- 8 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一
- 9 開会挨拶（教頭）
委員総数9名全員が出席し過半数に達しており、会議の成立について報告があった。
- 10 会長挨拶（藤田源）
本日は、先生方が参観している。校長先生の思いとして、保護者、地域の協力が必要だということが表れている。会の中での発言がそのような思いから出ている事を肌で感じて頂きたい。
- 11 委嘱状交付（教頭）
新規委員のPTA副会長加茂さんに委嘱状を交付し、全員自己紹介をした。
- 12 浜松市学校運営協議会規則確認（教頭）
学校運営協議会の目的、学校関係者評価、自己評価、守秘義務について確認をした。
- 13 議長選出
議長 藤田 源大さん 副議長 藤田 雅光さんを選出。満場一致。
- 14 前回議事録確認（武田）
・資料2 5ページでの内容を説明、学校評価、いじめ未然防止対策状況、学校運営協議会自己評価結果について内容を確認した。
- 15 協議事項
(1) 熟議1 学校運営基本方針について
校長：今年度の学校グランドデザインを基に説明した。
河瀬：昔は中卒も多く、中学校で社会に出て困らない自立心を持たせることが重要。
先生方の負担増にはなと思うが、叱るべきところはしっかり叱る事が出来る
学校になってほしい。社会に出ても生きていける力を付けさせて頂きたい。
会長：創造一路の意味を真剣に考えて進めて頂いていただきたい。何を実現すれば
「雄踏ならでは」なのかをしっかりと考える必要がある。
委員：全員異議なしで承認を頂いた。
(2) 熟議2 いじめ防止基本方針について
高柳：資料4を使って雄踏中学校いじめ防止基本方針を説明。
会長：いじめ件数が問題ではないと考える。いじめは被害者、加害者どちらにもなる
事がある。本人の感じ方の問題も大きい。個々のとらえ方の差が大きい難しい
問題。
坂田：いかに生徒との信頼関係を構築する事が出来るかが重要。早期発見、早期対応
をして頂きたい。
山内：小学校もマンツーマンで対応しているが、すぐに泣きだす子など対応に苦慮し
ている。
副会長：先生方が若い事は大きな魅力。しかし、いじめ、クレームへの対応力はやはり

経験に裏打ちされた知見が必要。若い先生方だけでは対応が難しい。一步引いて俯瞰できる管理職の助言、情報共有が必要だと考える。

関谷：信頼関係の構築が一番と考える。受け取り方次第なので難しい問題。

河瀬：子どもたちの変化にいかんが気づき、くみ取れるかが重要。初期対応を逃し、後手に回ると対応が非常に厳しくなる。

坂下：個人による受け取り方の違いが大きい。とらえ方次第の部分が多い。昔と違い、いじめの定義が大きく変わってきている。

坂田：去年のいじめ件数の詳細をお聞きしたい。

高柳：保護者と確認を取りながら件数のカウントを進めている。いじめの定義を基準に件数のカウントをしている。

(3) 熟議3 活動日程・内容及び重点項目について

関谷：人数を集めるのは大変だが、教える事は楽しいので、是非もう少し人数を集めてほしい。楽しいのでさらに多くの人々が体験してほしい。

会長：確かに学校は敷居が高い。しかし、学校のためにと思っている人は多いと思う。多くの人々が積極的に参画できる様になればと思う。

山内：小学校ならOKだが中学はレベルが高いと思われがち。外国人も小学生からもう少し国語力を身につける必要があるが、学習ボランティアの教育には語学力も必要になるので敷居は高いのでは。今年は、被服ボランティアの人数をもう少し増やしていきたい。

武田：今後の活動日程について去年の実績をもとに作成。

教頭：資料5夢育やらまいか事業の説明。

委員：全員一致で承認。